

景観まちづくり学習指導案

1. 単元名 「ひそんでいるぞ!カオ・かお・顔」

2. 小単元名

・総合 「顔に見えたらシャッターチャンス」

・図工 「まちで見つけた私のペット」

2. 題材のねらい

- ・ふだん見ている景観でも見かたをかえると様々な表情があることに気づくことができる。
- ・身近な景観に関心を持ち、様々なまちの表情を写真に収めることができる。
- ・かなづち、のこぎりなどの道具を、安全に留意して、正しく使うことができる。
- ・まちで見つけた様々な表情の写真をもとに、オリジナルの生き物を意欲的に作ることができる。

3. 題材について

本題材は第3学年総合的な学習の時間で行われる「景観まちづくり」の写真をもとに図工の時間をつかってその写真を作品にしていくものである。

総合的な学習の時間では、まちにひそむ様々な表情（ふだん見ている景観でも見かたをかえるといういろなかおに見えるもの）に目を向け写真を撮る。

図工の時間では撮った写真にからだを作り、自分だけのオリジナルペットを作るという流れで行う。

からだはくぎ打ちの学習「くぎ打ちとんとん」と関連づけ、子どもたちが日常で関わることの少なくなった、「木」をもとに楽しく創造することや、くぎや身近な材料を使いながら、材料を自在に扱うこと、身体全体の感覚を働かせるなど、作り出す喜びを味わうような活動である。

4. 材料

教師（デジタルカメラ、かなづち、のこぎり、くぎぬき、くぎ、端材、板）

児童（毛糸、ビーズ、モールなど身近な材料）

5. 学習計画 (総合225分 図工270分扱い)

教科	分	学習内容	○支援●留意点☆評価
総合「顔に見えたらシャッターチャンス」	4 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・校内にひそむ「カオ」をさがす。 ・校内で見つけた顔をワークシートに記入し発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いつも通う学校にも見方を変えると様々な表情があることを気づかせ、愛校心を育てる。 ☆ふだん見ている景観でも見かたをかえると様々な表情があることに気づくことができる。
	4 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・「顔に見えたらシャッターチャンス」について知る。 ・カメラの扱いについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●校内で見つけた「カオ」について想起させるよう声かけを行う。 ●教師が撮った写真を掲示しイメージがわくようにする。 ●カメラの使う機能はシャッター、ズームのみにする。 ☆簡単なカメラの操作を身につけることができる。
	9 0 分	<ul style="list-style-type: none"> ・13～14人で5グループに分かれ、カメラを持ってまちに「カオ」を探していく。(1グループカメラ2台) ・見つけた「カオ」写真を一人5枚程度撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各班に教師と地域の方が付き添う。 ●互いの見え方を尊重できるよう声かけを行う。 ○被写体を見つけれない児童には個別に対応する。 ☆ふだん見ている景観でも見かたをかえると様々な表情があることに気づくことができる。 ☆身近な景観に関心を持ち、様々なまちの表情を写真に収めることができる。
	4 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時グループで撮影した写真の中からお気に入りの写真を1～2枚選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●沢山の表情の生き物があると楽しい生き物の世界ができることを伝える。 ○写真を選べない児童には友達と相談したり、個別に相談にのるようにする。 ☆自分のペットにしたいオリジナルな動物を想像して、顔を選ぶことができる。

図工「まちで見つけた私のペット」	9 0 分	<ul style="list-style-type: none"> ・かなづち、くぎぬき使い方を知る。 ・図工室にある木片を使ってくぎ打ちの練習をする。 ・「まちで見つけた私のペット」について知る。 ・10×20×1.8の板を配りくぎ打ちをして写真で撮ってきた「カオ」のからだにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●くぎの打ち方や安全指導など、児童が安心して活動に入れるよう一斉に指導を行う。 ○数種類のくぎを用意し意欲を高める。 ●教師作成のペットを見せイメージがわくようにする。 ●ペットの特徴や性格などを考えて活動するよう声かけを行う。 ○色つきのくぎや長さの異なるくぎを用意して意欲を高める。 ☆かなづち、のこぎりなどの道具を、安全に留意して、正しく使うことができる。 ☆まちで見つけた様々な表情の写真をもとに、オリジナルの生き物を意欲的に作ることができる。
	9 0 分	<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの使い方を知る。 ・60×4×1.2の木を切り、くぎ打ちをして手足や首、しっぽなどの飾りにする。 ・からだと飾りをくぎでつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●のこぎりの安全な使い方について実演、説明を一斉に行う。 ○のこぎりの刃がうまく入れられない児童には個別に指導する。 ○からだのせまい部分にくぎを打つので支援を必要とする児童には個別に対応する。 ☆かなづち、のこぎりなどの道具を、安全に留意して、正しく使うことができる。 ☆まちで見つけた様々な表情の写真をもとに、オリジナルの生き物を意欲的に作ることができる。
	9 0 分	<ul style="list-style-type: none"> ・写真をからだにボンドでつける。 ・モールやビーズ、毛糸などを使いかざり付けをする。 ・出来上がった作品に名前を付け、特徴や性格などを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●図工室にあるもので飾り付けに使えるものを用意し意欲を高める。 ☆まちで見つけた様々な表情の写真をもとに、オリジナルの生き物を意欲的に作ることができる。